

令和元年 6月 7日

智頭町議会

議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 大河原 昭 洋

〃 岩 本 富美男

〃 中 野 ゆかり

〃 酒 本 敏 興

〃 大 藤 克 紀

議 員 派 遣 結 果 報 告 書

令和元年5月10日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

- 1 派遣名 議会報告会
- 2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会
- 3 派遣場所及び期間
 - (1) 智頭町郷原259番地 「山形第一地区公民館」 令和元年5月22日
 - (2) 智頭町福原19番地 「山郷地区公民館」 令和元年5月23日
 - (3) 智頭町智頭2072番地1 「智頭町総合センター」 令和元年5月24日
- 4 概要
別紙1～3のとおり

別紙1

令和元年度 議会報告会結果概要（山形地区）

- 1 日 時 令和元年5月22日（水）19：00～20：30
- 2 出席議員 大河原、岩本、中野、酒本、大藤 5人
- 3 参加者数 22人（男21人、女1人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（30分）後に意見交換

（1）質疑応答

病院施設費について

問 病院施設費が4億6000万円となっているが、すべて施設費か。

答 部分的な修繕費も入っている。実質は運営費である。

議会改革について

問 議会改革に関するアンケート回答者の多くが高齢者で、若い人が少ないのではないか。

答 各種会合でアンケートをとったが、PTA联合会分が未集計のため、今の段階では反映できていない。

問 議員のなり手が少ないということだが、今後なり手を増やすための思案はあるのか。

答 今後、アンケート結果を分析する。

林業景観について

問 智頭林業が重要文化的景観に認定されたが、来訪者が多く来ているのか。また、メリットデメリットはあるのか。

答 持ち帰る。

（2）要 望

災害復旧について

- ・地域の事情や要望を聞いて事業を行ってほしい。
- ・林道の災害復旧の場合、支障木は補助の対象にならないようだが、対象にしてほしい。

地籍調査について

山林の地籍調査を早めて欲しい。

恋山形駅について

トイレと駐車場に関して問題が発生している。役場と智頭急行の担当者に、一緒に地元に来てほしい。

報告について

工事関係（道路・堆雪帯・融雪・護岸工事）などの立会いや陳情・要望を地元が行った後、途中経過や報告を速やかにしてほしい。

森林環境税について

森林環境税を人口割ではなく、面積割にしてほしい。

薪ストーブ導入補助について

薪ストーブ導入に補助はあるが、燃料を町外から取り寄せるようであれば、智頭産材の有効利用にならないため、薪にも補助してほしい。

(3) 意見

議員報酬について

- ・議員報酬の手取りが17～8万円だと、政治に関心があっても、子育て中の4、50代の方は手を挙げづらい。手取りで25～30万円程度の金額を出すべきではないか。
- ・報酬を上げて、全国に意気込みを示してほしい。定員を削減し、その分を現在の報酬に上乗せしても極端には上がらない。今のままでは若手の議員がうまれない。

地縁団体について

人口減少により、これまで部落で管理していた財産について、権利がどのように移行していくか心配である。町全体で地縁団体設立支援が必要ではないか。

移住定住施策について

移住者には、町有地無償提供や町有財産の敷地に家を建てたりしている。片や定住者は、災害危険地域であっても固定資産税を下げず、災害危険溪流地域で家が建てられない所であっても同じ固定資産税である。矛盾しているのではないか。

令和元年度 議会報告会結果概要（山郷地区）

- 1 日 時 令和元年5月23日（木）19：00～20：30
- 2 出席議員 大河原、岩本、中野、酒本、大藤 5人
- 3 参加者数 12人（男12人、女0人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（30分）後に意見交換

（1）質疑応答

町議会補欠選挙について

問 町議会の補欠選挙が来年あるのはなぜか。

答 現在町議会に欠員が1名あるため、来年、町長選挙と同時期に町議会議員の選挙が行われる。

問 選挙は行わなくてもいいのではないか。

答 現在議会改革検討委員会で定数も審議中であるが、その結果の執行は、次の改選時となる予定。

議会報告会について

問 なぜ議員全員（11名）が1会場に来ないのか。直接町民の声を聞く方がより理解しやすく、会場の雰囲気もわかるのではないか。

答 議会基本条例が制定され8年目である。そのころから同じ形態をとっている。意見を受けて議会で検討していく。

行政評価について

問 行政評価の対象10事業を選択した根拠は何か。

答 総務・民生常任委員会それぞれが、問題ある事業や大事な事業を5事業抽出している。

火葬場調査特別委員会について

問 議会として方向性を出したのであれば、町の予算を反対すればいいと思う。場合によれば、議会を解散してでも、町民に真意を問えばいい。何のための特別委員会か。

問 町村合併の折、議会が反対して単独になった。その時、町が出していたシミュレーションは良くない話ばかりだったが、あれは何だったのかと思う。この度出された火葬場についてのシミュレーションも疑わしい。町単独で火葬場を運営することで町民税が高くなっても、文句を言わないと思う。大半の人が東部広域に出ることに反対だったと思う。

問 調査特別委員会を出した結果が修正されるのであれば、なぜ、再度特別委員会を開き、数ヶ月経って方向性が変わったということを出さなかったのか。最終的に個々の判断で流されていいのか。ある意味、町民を裏切ったと思える。特別委員会は不要ではないか。

答 様々な判断をした中で出た結論である。

問 調査特別委員会は、9月に出された調査報告の結果をもって解散したのか。

答 9月で解散した。

議員定数と報酬について

問 兼業はできないのか。

答 公務員はできないが、サラリーマンの場合、会社が認めれば可能である。

陳情書について

問 議会に陳情書を出して採択になり、議会だよりに掲載されるが、その後はどうなるのか。

答 優先順位で対応している。フォローアップの方法を検討する。

(2) 要 望

防災に関して（昨年7月豪雨関連）

子育て支援センターも指定の避難場所にしてほしい。

(3) 意 見

行政評価について

数にこだわることなく、行政評価をしっかりとしてほしい。その結果を政策提言に結びつけ、町民に理解してもらえるよう取り組んでほしい。

議員定数と報酬等について

- ・無投票になったといっても12人の定数に対し12人出ているので問題はない。11人の立候補者しか出なくて無投票であったら問題だと思う。定数を倍にしてもいい。多い方がいい。
- ・定数は多い方がいい。減らすのは反対。
- ・減らせばいい。多すぎる。10人でいい。
- ・人口が少なくなっているなので、11人でいい。
- ・議員年金が復活したらいいのではないか。

令和元年度 議会報告会結果概要（智頭地区）

- 1 日 時 令和元年5月24日（金）19：00～20：40
- 2 出席議員 大河原、岩本、中野、酒本、大藤 5人
- 3 参加者数 18人（男16人、女2人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（30分）後に意見交換

（1）質疑応答

議会だよりについて

問 議会だよりの町民の声で、火葬場は賢明な選択と書かれているが、賛成・反対両者の意見を入れなかったのはなぜか。

問 議会広報常任委員会は中身を精査しないのか。原稿を書いた人に責任はないが、この記事を出す議会に責任がある。

答 町民の声の内容については自由記載。火葬場についての寄稿依頼ではない。

町財政について

問 経常収支比率が98%を越えている。財政破綻になるのではないか。

答 経常収支比率が100%になったとしても即破綻ということにはならない。破綻になる線として、早期健全化比率が350%を越えたら財政が苦しくなる。しかし、今の智頭町は111%くらいのため、多少余裕はある。

問 平成24年ごろから起債額が増えている。起債額は85億5600万円となっているが大丈夫か。

答 起債も一つの手法である。起債をしたらいけないということはない。将来的試算をしている。

新図書館建設について

問 議会だよりの中で、10年間は財政が厳しいと書いてあった。そんな中、7億円もかけて図書館を建てることに議会はブレーキをかけないのか。

答 将来的試算をしている。

問 図書館建設に対し、議会はどれだけのチェックをしたのか。

答 チェックをせずにやったのではない。

問 図書館を建てる経緯を知らない町民もいる。議会はもっと説明をしてほしい。

答 図書館については、突発的に行った事業ではない。

問 第6次総合計画から図書館構想があったことも知っている。だからこそ、見直しもできるということだと思うが、なぜ議会は一度立ち止まって考えないのか。

答 寺谷町政は単独で図書館を作るという方向を示した。

一問一答制について

問 一問一答制を改めて、具体的な質問をしてもらわないと真実が出てこないのではないか。

答 議会を活性化するために一問一答制を導入した。一般質問は、政策の基本姿勢の真を問うもの。一度現場を見てもらいたい。

行政評価について

問 行政評価は次年度予算に反映されるのが望ましいのではないか。

問 評価後のチェックも必要ではないか。

答 行政評価を政策提言に結びつけ、月例委員会で進捗状況について意見交換をするなど、すべてを関連させて回している。

火葬場について

問 いつ火葬場を解体するのか。

答 老朽化で煙突の倒壊の恐れがある。住民が敷地内に入り、けがや事故があつてはいけないため、解体の方向で考えているが、いかに予算を抑えるか、また、跡の使い道も検討している状況である。

問 3月に東部広域に出ることが決定して以降、2件葬儀が発生した。4月までは智頭で火葬ができるにもかかわらず、1件は東部広域の斎場に行くように言われたと聞く。なぜか。

答 差額は町が負担して東部広域の斎場に行ってもらったと聞いている。

消防署について

問 新しい消防署はどこに建つのか。

答 鳥取自動車道、智頭インター付近、下水処理場と大黒天の間のあたり。

問 前回の災害時、浸水した場所であるが大丈夫か。

答 考えながらやるということだ。町が土地を購入し、東部広域が建物の施設整備を行う。

問 土地は町で、建物は東部広域ということか。

答 そうだ。

問 住民に公表するのはいつか。

答 契約は終わった。今年度含め3年間で施設整備をしていく計画である。東部広域の中で具体的な計画を決められていくと思う。

問 今の消防署の敷地は町有地か。

答 そうだ。

問 何月頃出て、何月頃に完成という計画に町議会議員は関係しないのか。

答 聞く権利はあるが、まだ具体的にはなっていない。土地の契約が終ったことは聞いた。

(2) 要望・提案

火葬費用の補助について

お年寄りの多くは、智頭に税金を納めて、智頭の発展のために一生懸命尽くされてきた方々である。ご苦勞様という感謝の気持ちとして、火葬費用の一部を補助できないものか。

新施設に関する公表について

新しい消防署がどこにできるかを公表してほしい

GPSの配布について

高齢者あるいは、小中学生にGPSを配布している自治体がある。GPSがあることによって、行方不明者の生存率が高くなる。ぜひ考えてもらいたい。

(3) 意見

議会・議員について

- ・執行部は無茶苦茶悪政をしているのに、チェックをしようとしめない議会。町民はがっかりしている。町議会議員の失態が多いからだ。悪政になぜ参加するのか。志を貫いてほしい。執行部の機能チェックが大きな仕事であり、町民はそのことに一番関心を寄せている。
- ・公正の確保と透明性の向上をもって、町民の権利と利益の保護に資してほしい。
- ・町会議員は町民目線でチェックをしてほしい。

議員報酬について

日本全国の平均額は21万5000円。鳥取県は沖縄に次いで貧乏な県であるにもかかわらず、平均より1万4000円多い。智頭町は多いと驚いている。今後、本町の議員報酬を考える際、町村議会議員報酬を基準に考えると、おのずと答えは出ている。

議会だよりについて

- ・委員会での議論も議会だよりに載せてほしい。
- ・議会がどういうことを目標に一生懸命しているのかを町民に知らせてほしい。
- ・知らない間に物事が決っているので、情報公開をしてほしい。
- ・議会だよりを読んでも何一つ真実が出てこない。
- ・行政評価の具体的な内容も書いてほしい。(何をどのように見直すかなど)
- ・議会が何をしているかわからないという人もいる。情報発信の工夫と、透明性の向上に努めるべきではないか。

文化的建造物について

文化的建造物が必要だと言っているが、縄文遺跡を放っている。議会も文化的なことに目を向けてほしい。

図書館について

- ・図書館を建てないと賑わいができないのか。図書館建てなくても、そういう事業を始めたらいいのではないか。
- ・賑わいを作ろうとするのなら、日南町が行ったコンパクト in ビレッジ構想も1つの方法ではないか。
- ・本はスマホでいくらでも見られる。

防災拠点について

- ・地震時も防災の拠点は総合センターである。防災の拠点であれば、耐震基準にあったような改築をすべきで、町民の命や財産を守る防災に関して、耐震工事もできていない建物に避難させることに対してどう考えているのか。
- ・防災で備品購入などの予算がついているが、根本的に防災の拠点の安全性を考えるべき。智頭町のほとんどの避難場所が公民館になっており、そのほとんどが大雨の際危ない。各地区にきちんとした拠点をつくるべきと思う。

火葬場について

- ・火葬場の入り口が侵入禁止にしてあるが、墓や畑がある人は困る。
- ・火葬場の現状を、議員にも見てもらいたい。
- ・碑を建てて、桜など樹木を植えて継承してはどうか。

固定資産税について

固定資産税が14%から15%に上がったまま徴収されているのはなぜか。